

指定管理者評価シート

事業名	札幌駅前通地下歩行空間維持管理費	所管課(電話番号)	まちづくり政策局総合交通計画部都市交通課(211-2492)
-----	------------------	-----------	--------------------------------

I 基本情報

1 施設の概要			
名称	札幌駅前通地下広場	所在地	札幌市中央区大通西3・4丁目、北1条西3・4丁目、北2条西3・4丁目、北3条西3・4丁目
開設時期	平成23年3月12日	延床面積	6947.6 m ²
目的	多目的に活用できる場を提供し、札幌の目抜き通りにふさわしいにぎわいを創出することにより、集客交流の活性化、新たな産業の育成及び独自の都市文化の創造を図り、もって市民生活の質の向上に寄与することを目的とする。		
事業概要	交差点広場や憩いの空間、大型映像設備といった施設を使用に供すること。その他広場の設置目的を達成するために必要な事業。		
主要施設	交差点広場(6箇所)、憩いの空間、大型映像設備		
2 指定管理者			
名称	札幌駅前通まちづくり株式会社		
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日		
募集方法	非公募 別紙のとおり		
指定単位	施設数:1施設 複数施設を一括指定の場合、その理由:(単独指定の場合、記載不要)		
業務の範囲	施設維持管理業務、施設の設置目的を達成するために必要な事業の計画及び実施に関する業務、施設の貸し出し業務(利用料金制度)、施設使用承認業務		
3 評価単位	施設数:1施設 複数施設を一括評価の場合、その理由:(単独評価の場合、記載不要)		

II 平成30年度管理業務等の検証

項目	実施状況	指定管理者の自己評価	所管局の評価				
1 業務の要求水準達成度							
(1) 統括管理業務	<p>▽ 管理運営に係る基本方針の策定 札幌駅前通の魅力を生み出し、駅前通地区の賑わいを創出することで、都心のまちづくりに寄与するという理念のもと、札幌駅前通地下広場が「札幌の顔」となるように賑わい創出の場となる基本方針とした。</p> <p>▽ 平等利用に係る方針等の策定と取組実績 駅前通地下広場が公の施設であることに鑑み、平等利用及び透明性の確保という方針のもと、市民の公平利用及び管理運営の透明性の確保に注意を払っている。この結果、広場施設は平成30年度に延べ2371団体の申請実績があった。</p> <p>▽ 地球温暖化対策及び環境配慮の推進 駅前通地下広場が環境に与える影響を十分に考慮し、省エネルギー及び省資源化の推進による温室効果ガスの排出抑制その他、環境への負荷軽減に努めている。また社内で環境マネジメントに関する研修を行った。</p> <p>▽ 管理運営組織の確立（責任者の配置、組織整備、従事者の確保・配置、人材育成） 地域関係者と連携しながら業務を行うことを重視し、効率的かつ安定した運営ができる組織を確立した。指定管理者として適切な業務運営を実施するために、統括マネージャーを責任者に、担当職員を10名配置した体制とし、業務に万全を期しました。公の施設の管理活用を担う組織の社員としてのホスピタリティ向上、業務スキル向上等のため、他地域のエリアマネジメントの事例調査／研修も実施した。</p> <p>▽ 管理水準の維持向上に向けた取組 社員に対し各種研修を実施することにより、実務能力の向上を図るとともに専門性向上の取組も行っている。労働関係法令を遵守し社員の労働環境を確保するとともに、定期的なミーティングの開催により社員間の情報交換を行うことで問題点の把握や業務の見直し等を行った。また道路部分を管理する防災センターや清掃業者等とも適宜打ち合わせを行い、運営体制を整えた。</p> <p>▽ 第三者に対する委託業務等の管理（業務の適正確保、受託者への適切監督、履行確認） 複数の見積徴取によるコスト削減及び適切な監督を行う事を基本方針としたうえで、高水準のサービスやノウハウを有する事業者の一部の業務を委託している。各委託業者には月次報告書、完了報告を提出してもらい、履行確認をしている。</p>	<p>基本方針を踏まえ、適切な運営ができた。</p> <p>市民の平等利用を確保するため、適切に運営できた。</p> <p>全社員が常に節電や省資源化の意識を持って業務に当たることができた。</p> <p>労働関係法令を遵守するとともに、官公庁や地域関係者との連携や調整が適切に図れた。</p> <p>職員の専門性の向上は段階的に進んでいる。社内ミーティングも適切に行われている。</p> <p>外部への業務委託は手続き及び指導監督とも適切に行った。</p>	<table border="1" data-bbox="1070 293 1233 327"> <tr> <td>A</td> <td style="background-color: yellow;">B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table> <p>○基本方針に則り適切に運営されている。指定管理業務については、高い水準の運営が行われている。また、これまで蓄積したノウハウも生かすつつ適宜、業務の改善が行われ、個々の問題にも適切に対応していることが評価される。苦情や問い合わせ対応も適切である。</p>	A	B	C	D
A	B	C	D				

▽ 札幌市及び関係機関との連絡調整(運営協議会等の開催)

▼ 運営協議会の開催状況は下表のとおり

開催回	協議・報告内容
第1回 6月26日	・運営状況について
第2回 9月20日	・運営状況について ・北海道胆振東部地震に伴うキャンセルについて
第3回 12月19日	・運営状況について
第4回 3月20日	・運営状況について ・利用規約の変更について
<p><協議会メンバー> 札幌市まちづくり政策局総合交通計画部都市交通課、札幌市まちづくり政策局都心まちづくり推進室、札幌駅前通まちづくり株式会社</p>	

▼ 関係機関一覧表を作成し、必要に応じて連絡調整を行った。

▽ 財務(資金管理、現金の適正管理)

資金管理については、指定管理業務、自主事業ごとの区分経理を実施しており、税理士による外部チェックを導入している。現金等の取扱いについては、現金取扱規定を整備している。また領収書は、指定管理業務と自主事業とに分けている。

▽ 要望・苦情対応

要望・苦情対応についてはマニュアルを作成し、全社員に周知している。回答内容を全社員で共有している。問い合わせについては、3日以内に返答するようにしている。電話によるものについては、受けた者が回答内容も含めて記録し、情報共有している。また問合せ・要望については、月次報告書で広場管理者に報告し、札幌市関係部局に引き継ぐことができた。また広場以外の問い合わせの際は、各所の連絡先を案内した。

▽ 記録・モニタリング・報告・評価(記録、セルフモニタリングの実施、事業報告、札幌市の検査等への対応、自己評価の実施)

▼ 札幌市の業務検査は、12月、3月に実施され、指摘事項はなかった。広場利用者アンケートを実施し、要望、意見については記録を作成し、広場の利用促進等に役立てた。

▼ 広場利用者だけではなく通行者からのアンケートもとることで、空間全体の課題を把握した。

運営協議会のほかにも、札幌市及び関係機関とは定期的に協議の機会を持ち、連携している。

資金管理や現金の管理は適正に行った。

苦情や問い合わせに対しては適切に対応できた。

いずれも適切に行った。

<p>(2)労働関係法令遵守、雇用環境維持向上</p>	<p>▽ 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上</p> <p>事務所開設時間が9時～21時と長時間に及ぶこと、イベントの開催や設営・撤去等で不規則な勤務時間や土日祝日勤務の必要があることから、社員においては変形労働時間制及び変形休日制を適用し、業務の実行に支障のないよう、効率的かつ柔軟な勤務形態とした。勤務条件等については、労働基準法及び当社就業規則等を遵守し、社員それぞれの希望に応じて、「仕事」と、子育て地域活動等の「OFFの時間」の調和がはかれる状態を考慮した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼ 施設で働く職員(アルバイト含む)に対し、最低賃金835円(平成30年10月1日発行)を上回る850円以上の時給を支給した。 ▼ 施設で働く職員に対し、時間外労働・休日労働及び深夜業をさせた場合、それぞれ法定割合の割増賃金を支払った。 ▼ 施設で働く職員は、1週40時間、1日8時間を順守した。 ▼ 施設で働く職員に、時間外労働又は休日労働させる場合は、書面による労使協定(36協定)により必要な定めをし、労働基準監督署に届け出た。 ▼ 全ての労働者を労災保険に、条件を満たす労働者を雇用保険に加入させた。 ▼ 労働者の勤務形態、家族状況等に応じて年金保険、医療保険に適切に加入させた。また、必要に応じて適切に届け出等を行った。 ▼ 雇入れ時に、健康診断を実施した。 ▼ 1年に1回定期健康診断を実施した。 ▼ 労働基準監督署からの行政指導を受けなかった。 ▼ 指定管理者の申込時に提出した、ワーク・ライフ・バランスの取組に関して適切に実施した。 ▼ 更に育児や介護をしながらでも安心して就業できる環境整備を行うことが重要であるという認識のもと、子育て世代への支援手当の支給や、法令上は無給でも差し支えない看護休暇の有給休暇化、育児・介護を行っている社員に対する就業時間の弾力的運用など、様々な施策を実施した。 ▼ 職員個々が市民サービスの向上、管理経費の縮減に意欲をもって取り組めるような、効率的かつ柔軟な労働環境を整えた。 ▼ 第三者委託により実施している業務について、受託者に当該業務従事者の労働環境に関わる情報提供を求めた。 	<p>労働関係法令を遵守するとともに、ワーク・ライフ・バランスを意識した。</p>	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td colspan="4">○不規則な勤務時間・土日祝勤務の必要があるが変形労働時間制を取るなど柔軟な勤務形態をとっており、労働関係法令も遵守している。</td> </tr> </table>	A	B	C	D	○不規則な勤務時間・土日祝勤務の必要があるが変形労働時間制を取るなど柔軟な勤務形態をとっており、労働関係法令も遵守している。			
A	B	C	D								
○不規則な勤務時間・土日祝勤務の必要があるが変形労働時間制を取るなど柔軟な勤務形態をとっており、労働関係法令も遵守している。											
<p>(3)施設・設備等の維持管理業務</p>	<p>▽ 総括的事項(利用者の安全確保、市民サービス向上への配慮、連絡体制確保、保険加入)</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼ 利用者の安全については、事前に打合せを行い、図面及び作業届出書を提出してもらった。また適宜現場確認を行った。また、関係各部署と調整を行い、利用がスムーズに行われるように心がけた。 ▼ 拾得物取り扱いについては、防災センターに預かりを一元化している。通行者から問い合わせがあった際は、連絡先を案内しており、サービス向上に努めた。 ▼ 損害賠償保険は仕様に適合したものに加入した。 <p>▽ 施設・設備等の維持管理(清掃、警備、保守点検、修繕、備品管理、駐車場管理、緑地管理等)</p> <ul style="list-style-type: none"> ▼ 月1回備品の点検を行い、適切な状況で利用いただけるように心がけた。また、必要に応じて修理を行った。ピクチャーレール等の保守点検も実施した。利用者が施設や備品等を損傷させた場合は速やかに直すようにした。 ▼ 清掃、映像の保守、運営業務については第三者委託により適切に実施し、仕様書の水準を達成した。また、利用者の増加に伴い、防災センターとの連携も必要になったことから、巡回業務についても委託した。 	<p>利用者の安全確保のため、適切な運営を行った。</p>	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td colspan="4">○施設の維持管理業務は、適切に行われている。また、イベントについても個々の状況に応じ柔軟に対応している。安全面でも十分配慮がなされており、適切な対応が取られている。</td> </tr> </table>	A	B	C	D	○施設の維持管理業務は、適切に行われている。また、イベントについても個々の状況に応じ柔軟に対応している。安全面でも十分配慮がなされており、適切な対応が取られている。			
A	B	C	D								
○施設の維持管理業務は、適切に行われている。また、イベントについても個々の状況に応じ柔軟に対応している。安全面でも十分配慮がなされており、適切な対応が取られている。											

	<p>▽ 防災</p> <p>自衛消防訓練:3月13日(木)に実施(札幌駅前通地区防災協議会主催)。 チ・カ・ホ防災センターを中心とした情報収集や接続ビルへの通報連絡および避難誘導訓練を実施により、非常時の体制再確認を行った。 また緊急時対応マニュアルを基に、社内研修も実施した。また消火器も社内に備え、広場での異常時にはすぐに持ち出せる体制とした。</p>	<p>防災センター従事者、広場利用者、駅前通沿道の接続ビルなどが災害の発見・通報・避難誘導等の行動について周知・確認し、災害時の対応能力の向上を図ることができた。</p>																																																																									
(4)事業の計画・実施業務	<p>▽ 広場の設置目的を達成するための事業</p> <p>広場の設置目的である、にぎわいの創出の実現に向け、大型映像設備を活用した情報発信業務を行ったほか、札幌市の行政情報その他札幌市の魅力アップに係る情報を発信した。また近隣文化施設からのイベント情報を入手・掲載することで、都心部の回遊性に繋がるよう心がけた。</p> <p>▽ その他広場の設置目的を達成するための事業</p> <p>自主事業を事業計画のとおり実施した他、広場の利用促進パンフレット等を新たに制作した。</p>	<p>適切に事業を行うことができた。</p>	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td style="background-color: yellow;">B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table> <p>○施設の設置目的である、にぎわいづくりを達成するために、さまざまな自主事業の展開や有料貸出施設の有効活用の取組をしており、成果を上げている。</p>	A	B	C	D																																																																				
A	B	C	D																																																																								
(5)施設利用に関する業務	<p>▽ 利用件数等</p> <table border="1" data-bbox="327 840 837 1478"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>H29年実績</th> <th>H30年計画※1</th> <th>H30年実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">北3条交差点広場(西)</td> <td>件数(件)</td> <td>351</td> <td>307</td> <td>349</td> </tr> <tr> <td>稼働率(%)</td> <td>96%</td> <td>84%</td> <td>95%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">北3条交差点広場(東)</td> <td>件数(件)</td> <td>365</td> <td>365</td> <td>365</td> </tr> <tr> <td>稼働率(%)</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">北2条交差点広場(西)※1</td> <td>件数(件)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>稼働率(%)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">北2条交差点広場(東)※1</td> <td>件数(件)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>稼働率(%)</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">北大通交差点広場(西)</td> <td>件数(件)</td> <td>336</td> <td>306</td> <td>329</td> </tr> <tr> <td>稼働率(%)</td> <td>92%</td> <td>83%</td> <td>90%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">北大通交差点広場(東)</td> <td>件数(件)</td> <td>345</td> <td>307</td> <td>339</td> </tr> <tr> <td>稼働率(%)</td> <td>95%</td> <td>84%</td> <td>92%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">憩いの空間 1カ所24㎡×9カ所※2</td> <td>件数(件)</td> <td>3221</td> <td>2798</td> <td>3004</td> </tr> <tr> <td>稼働率(%)</td> <td>95%</td> <td>85%</td> <td>91%</td> </tr> </tbody> </table> <p>▽ 不承認0件、取消し0件、減額1155枠、免除・自主事業233枠 還付57件</p> <p>※1については、札幌市が「ICT推進・創造都市さっぽろ」に係る利用をしており利用件数のデータはない。大型映像装置については、年間通して稼働している。 ※2については、沿道ビル接続工事に伴い、貸出枠数前年度より変更。</p> <p>▽ 利用促進の取組</p> <p>▼写真等を多用したパンフレットを作成し、広場を利用したことがない方やインターネットが見られない方もわかりやすいものとし、随時更新をした。 WEBからお客様自身がイベントスケジュールを入力できる仕組みを作り、イベントスケジュールをこまめに更新することができた。 ▼地下歩行空間が利用されている様子をマスコミを通じて発信することで、利用しやすさをアピールした。</p>			H29年実績	H30年計画※1	H30年実績	北3条交差点広場(西)	件数(件)	351	307	349	稼働率(%)	96%	84%	95%	北3条交差点広場(東)	件数(件)	365	365	365	稼働率(%)	100%	100%	100%	北2条交差点広場(西)※1	件数(件)	—	—	—	稼働率(%)	—	—	—	北2条交差点広場(東)※1	件数(件)	—	—	—	稼働率(%)	—	—	—	北大通交差点広場(西)	件数(件)	336	306	329	稼働率(%)	92%	83%	90%	北大通交差点広場(東)	件数(件)	345	307	339	稼働率(%)	95%	84%	92%	憩いの空間 1カ所24㎡×9カ所※2	件数(件)	3221	2798	3004	稼働率(%)	95%	85%	91%	<p>9月に発生した北海道胆振東部地震によって、貸出できない日も発生したが、昨年度同様貸出は順調であった。地下広場の利用促進を積極的にアピールできた。</p>	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td style="background-color: yellow;">B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> </table> <p>○高い稼働率を維持していることは、高く評価できる。高い稼働率により、施設の設置目的である「多目的に活用できる場を提供することによる、札幌の目抜き通りにふさわしいにぎわいの創出」が達成されている。</p>	A	B	C	D
		H29年実績	H30年計画※1	H30年実績																																																																							
北3条交差点広場(西)	件数(件)	351	307	349																																																																							
	稼働率(%)	96%	84%	95%																																																																							
北3条交差点広場(東)	件数(件)	365	365	365																																																																							
	稼働率(%)	100%	100%	100%																																																																							
北2条交差点広場(西)※1	件数(件)	—	—	—																																																																							
	稼働率(%)	—	—	—																																																																							
北2条交差点広場(東)※1	件数(件)	—	—	—																																																																							
	稼働率(%)	—	—	—																																																																							
北大通交差点広場(西)	件数(件)	336	306	329																																																																							
	稼働率(%)	92%	83%	90%																																																																							
北大通交差点広場(東)	件数(件)	345	307	339																																																																							
	稼働率(%)	95%	84%	92%																																																																							
憩いの空間 1カ所24㎡×9カ所※2	件数(件)	3221	2798	3004																																																																							
	稼働率(%)	95%	85%	91%																																																																							
A	B	C	D																																																																								

(6)付随業務	<p>▽ 広報業務</p> <p>▼ウェブアクセシビリティ取組確認を実施し、31年3月25日に公開した。</p> <p>▼HPのコンテンツ充実に取り組んでいる。(平成30年度閲覧数:1日平均3000件)</p> <p>・新聞社に協力いただき、地下広場で開催されるイベントのうち公益性のあるイベントについては、情報を新聞に掲載していただいている。また情報提供媒体を増加させた。</p> <p>・地下歩行空間の大型映像装置(タッチパネル)を活用し、公益的なイベントを中心に開催スケジュールを掲載した。</p> <p>▼ 施設内に設置しているインフォメーションボードには、札幌市の施策にかかる情報も掲載した。</p> <p>▽ 引継ぎ業務 (前回から継続指定のため、引継業務なし)</p>	<p>HPを段階的に充実させることができた。また、新規の取組みも実践できた。ホームページ運用にあたっては、札幌市公式ホームページガイドラインを参考に運用したほか、ウェブアクセシビリティについては、JISX8341-3:2016の適合レベルに準拠できるように改修を行った。</p>	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td colspan="4"> <p>○HPは定期的に更新され、内容も充実しており、情報提供ツールとして十分に機能している。また、新聞や各種メディアへの積極的な働きかけによるPRの手法やタッチパネルでの情報提供についても評価できる。</p> </td> </tr> </table>	A	B	C	D	<p>○HPは定期的に更新され、内容も充実しており、情報提供ツールとして十分に機能している。また、新聞や各種メディアへの積極的な働きかけによるPRの手法やタッチパネルでの情報提供についても評価できる。</p>			
A	B	C	D								
<p>○HPは定期的に更新され、内容も充実しており、情報提供ツールとして十分に機能している。また、新聞や各種メディアへの積極的な働きかけによるPRの手法やタッチパネルでの情報提供についても評価できる。</p>											
2 自主事業その他											
<p>▽ 自主事業</p>	<p>まちなかサロン事業(憩いの空間・接続空間) 地下を行き交う人々が休み・憩うことが可能な空間を作り出した。</p> <p>市民活動促進のためのパンフレットコーナー設置事業 まちづくり活動団体のPRパンフレットやポスターを配架、掲示を行った。</p> <p>にぎわい創出／育成事業 市内の実績のある団体の協力のもとアート展やパフォーマンスイベントを実施した。(「チカチカ☆パフォーマンススポット」、「チ・カ・ホLIVE」など)</p> <p>チャリティイベント等支援事業 東日本大震災による被災地の復興支援を目的として、公共団体及び民間のチャリティイベントを関係団体と協力して実施した。</p> <p>利用者の利便性向上事業 複数日にまたがる利用者の利便性を向上することを目的として、弊社が貸し出すワゴンに収まるサイズで、利用者の備品を預かるサービスを実施した。また要望の多かった販売用のテーブル、ステージなどの貸出サービスも実施した。 売上:9,192千円</p> <p>案内ブースの設置 地下広場でのイベントや近隣の情報などを手軽に入手できるようにするため、案内ブースを設置した。</p> <p>北海道インフォメーションボード 地下広場の活用コンセプトの一つである「さっぽろ・北海道の魅力発信」を目的とし、北海道インフォメーションボードを設置しました。 売上:306千円</p> <p>修学旅行生の受け入れ事業 札幌市に修学旅行で訪れる学生たちの活動の一環として行われる各地域の広報活動(観光PR等)に対して、場所の提供を行い、地下広場の案内も実施した。 利用数:5校</p> <p>kuraché(クラシェ) 地下歩行空間は、札幌近郊や道内から様々なものが集まる拠点であり、新たな文化を発信する北海道のショーケース的な要素を持つ。食・モノづくり・環境をはじめとする生活に欠かせない要素の中からテーマにあった良質な製品を取り扱い、通行者に「北海道らしいステキな暮らしの提案」をする場としてマルシェを開催した。 実施期間:年6回開催</p>	<p>様々な企画に取り組み、駅前通地下歩行空間の賑わい創出に寄与できたほか、一般のモデルとなるような出展の見せ方ができた。</p>	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td colspan="4"> <p>○指定管理者自ら企画、運営する様々な自主事業により、施設の設置目的である「多目的に活用できる場を提供することによる、札幌の目抜き通りにふさわしいにぎわいの創出」に大きく寄与している。</p> </td> </tr> </table>	A	B	C	D	<p>○指定管理者自ら企画、運営する様々な自主事業により、施設の設置目的である「多目的に活用できる場を提供することによる、札幌の目抜き通りにふさわしいにぎわいの創出」に大きく寄与している。</p>			
A	B	C	D								
<p>○指定管理者自ら企画、運営する様々な自主事業により、施設の設置目的である「多目的に活用できる場を提供することによる、札幌の目抜き通りにふさわしいにぎわいの創出」に大きく寄与している。</p>											

Public Art Research Center | PARC
パブリックを通してアートを考え、アートを通してパブリックを考えるプロジェクトを実施した。公共空間の創造的活用方法を多角的に見いだすためのきっかけとなる企画になった。

▽ 市内企業等の活用、福祉施策への配慮等

▼ 業務委託やイベント実施をする場合には、可能な限り市内企業や団体に協力を得ている。また、行政情報の作成にあたっては、障害者を多く雇用する企業に発注している。

3 利用者の満足度

▽ 利用者アンケートの結果

実施方法	1: 地下広場利用者を対象とし、広場利用者の満足度や意見、要望について調査するもの。 ①地下広場利用初日にアンケートを渡す。 ②地下広場利用最終日にアンケートを回収する。
結果概要	1: 平成30年7月及び31年1~2月に実施し、30年度は86件の回答があった。 ▽アンケート回答者の属性 30~50代が各2割、他は各1割の割合。男女の比率はほぼ5割。会社員4割、自営業3割、その他が2割、公務員1割。 全体の8割が札幌市内から。また7割が会社や団体での参加。 ▽広場利用について、満足していると回答したのは27件、やや満足と回答したのは15件。 ▽広場利用について、満足していないと回答したのは0件。 ▽職員の対応について、満足していると回答したのは71件(とてもよい、よいを合計して)。 ▽また利用したいと回答したのは、72件。
利用者からの意見・要望とその対応	【意見】 照明が暗いのもっと明るくしてほしい。 【対応】 貸し出しのスポットライトを変更し、より明るさを感じられるものとした。

概ね評価を得られているものの、改善すべきところは改善していきたい。また通行者アンケートについても継続して実施していきたい。

A	B	C	D
---	---	---	---

概ね高い評価が得られているが、寄せられた少数意見も参考に、より良い運営ができるよう取り組んでほしい。

4 収支状況

▽ 収支

(千円)			
項目	30年度計画	30年度決算	差(決算-計画)
収入	106,821	130,553	23,732
指定管理業務収入	94,808	115,676	20,868
指定管理費	0	0	0
利用料金	94,808	115,676	20,868
その他	0	0	0
自主事業収入	12,013	14,877	2,864
支出	120,122	121,087	965
指定管理業務支出	92,934	98,639	5,705
自主事業支出	27,188	22,448	▲ 4,740
収入-支出	▲ 13,301	9,466	22,767
利益還元	0	3,860	3,860
法人税等	465	203	▲ 262
純利益	-13,766	5,403	19,169

収入については、予定よりも稼働率がよく、支出については概ね計画通りに執行できた。自主事業は赤字だが、チ・カ・ホの賑わい創出のために必要であると考えている。ただ、なお一層の経費の縮減にも努めていきたい。

A	B	C	D
---	---	---	---

○施設の稼働率が高い水準で維持されており、指定管理業務は安定運営となっている。今後とも、適切な収支計画のもと事業運営を行ってほしい。自主事業については、にぎわい創出のため必要な事業ではあるが、優先事業への予算の集中など効果的な予算執行を望む。

▽ 説明

▼ 利用料金収入は、計画より稼働率が上がったことから、計画より20,868千円の増となった。

▼ 自主事業収入は、備品等安定的な貸し出しにより、計画より2,864千円の増となった。

▼ 指定管理業務支出は、稼働率が上がり、人員増のため、計画より5,705千円の増となった。

<ul style="list-style-type: none"> ▼ 自主事業支出は、広場の利用状況を鑑み遂行したことより、計画より4,740千円の減となった。 ▼ 利益還元は、指定管理貸し出し備品の更新及び大型映像装置更新に向けた検討費用に使用した額である。 		
--	--	--

<確認項目> ※評価項目ではありません。		
▽ 安定経営能力の維持 ▼ 当団体の財務状況等は、売上増のため、安定経営能力は選定時より向上している。		適 不適
▽ 個人情報保護条例、情報公開条例、行政手続条例、オンブズマン条例及び暴力団の排除の推進に関する条例への対応 ▼ 各条例の規定に則り、全て適切に対応した。 ▼ 情報公開請求が0件あった。 ▼ 協定に関する契約(第三者への委託、物品調達等)について、暴力団員や暴力団関係事業者を相手に契約を行わなかった。		適 不適

Ⅲ 総合評価

【指定管理者の自己評価】	
総合評価	来年度以降の重点取組事項
地上の駅前通・「札幌市北3条広場」と地下歩行空間および広場が、一体となって賑わいの創出を図ることが求められることから、地下歩行空間と地上の情報発信／連携が不可欠と考えられる。地上のまちづくりと連携した企画なども考案してきた。 「地下広場」の指定管理者として、その管理・運営を行った。利用者によるイベントが都心の回遊性を高めるとの認識のもと、貸し出しサービスの向上に努めた。また賑わいづくりや市民に喜ばれるアート企画、フォーラム等を自主的に実施し、市民に喜んでもらうことができた。	地下広場の活用コンセプトに基づく利用を促進することや、地下広場の利用者が地下歩行空間全体のにぎわいや景色を創り出していることを理解してもらい、誰もが気持ちよく利用できる魅力的な空間づくりに協力してもらえるようにするための活動を実施していきたい。また自主事業についても地下広場の賑わい創出にどのような効果があるかの検証する仕組みをつくりたい。 また利用者側の立場にたち、利用者アンケートを参考にしつつ、質を確保できるような貸出方法を検討していきたい。

【所管局の評価】	
総合評価	改善指導・指示事項
法令及び業務仕様書に従い、適切な施設運営を行っている。また、常に施設利用者へのサービス向上を図り、社員のスキルアップにも積極的で、札幌市とともに地域のまちづくりに積極的に取り組んでいる姿勢も評価できる。	施設の稼働率が高い水準で維持されており、今後、使用料の大きな伸びが期待できないことから、適切な人員の配置を行い、効率的な管理を行うこと。自主事業については、優先度を決めて事業を行う等、収支の改善にも取り組むこと。

選定方法を非公募とした理由

以下の理由により、札幌駅前通地下広場（以下「地下広場」という。）及び札幌市北3条広場（以下「北3条広場」という。）（以下「両施設」という。）の指定管理者を非公募とした。

1 団体の役割と両施設の設置目的・機能が一致すること

札幌駅前通まちづくり株式会社（以下「駅まち会社」という。）は、沿道地権者等が主体となって設立された駅前通地区における唯一のエリアマネジメント団体であり、「札幌駅前通地区を将来にわたり魅力ある都心の「顔」として育て、継続的かつ恒常的ににぎわいある地域づくりを進めるとともに、周辺地区と連携を図ることにより相乗効果的にまちづくりの効果を波及させ、ひいては都心全体の活性化を目指す」ことを理念に掲げている。そして、この理念を実現させるため、駅前通を地下歩行空間、北3条広場などの地上地下空間を活用し、歩行者にとってにぎわいを感じる通りとすることなどを活動の目標としている。

地下広場は、札幌駅前通地下歩行空間に多目的に活用できる空間を提供し、札幌の目抜き通りにふさわしいにぎわいを創出することにより、集客交流の活性化、新たな産業の育成及び独自の都市文化の創造を図り、市民生活の向上に寄与することを目的として設置されている。また、北3条広場は、市民等に多様な活動や休憩・滞留ができる場を提供し、都心全体のにぎわいを創出することで、集客交流の活性化と独自の都市文化の創造を促進することを目的として設置されており、両施設共に、駅まち会社がエリアマネジメントを進める駅前通地区内に設置されている。

駅まち会社はこれまで、沿道ビルの建替時における地下歩行空間との接続検討の支援のほか、両施設を一体として活用するイベントの開催など、地下及び地上をつなぐ回遊性の向上を促進してきた。

また、平成28年度には、地権者と共に協議を進め、「札幌駅前通エリアヴィジョン」を策定している。これは、「地下歩行空間のにぎわいを地上へと波及」させ、「北3条広場から歩道、路地、民地内の公開空地をつなげ、人々が出会う空間を増加」させることなどにより、地域価値の向上を図り、駅前通地区をより多くの人々が訪れ、交流するまちへと成長させていくことを内容としている。

このことは、札幌市が平成28年5月に策定した「第2次都心まちづくり計画」が目指す「駅前通（にぎわいの軸）の強化」・「都心強化先導エリ

アの形成」・「地上・地下の重層的ネットワークの形成」に寄与する取組であると同時に、両施設の機能発揮に著しく有効なものである。

以上のとおり、駅まち会社と両施設の関係は密接不可分にあるほか、駅まち会社の役割と両施設の設置目的・機能が一致することから、駅まち会社が両施設を一体的に管理運営することが妥当と認められる。

2 これまでの管理が良好に行われていること

駅まち会社は、平成 22 年度から地下広場の、平成 26 年度から北 3 条広場の運営をそれぞれ設置当初から行ってきており、中心市街地の地下及び地上に設置された両施設を効果的に運営するノウハウを蓄積し、人材育成も図ってきているほか、積極的な広報活動等を行う中で、地下広場は当初の目標をはるかに上回る稼働率を維持しており、北 3 条広場も年々稼働率が上昇し、都心における回遊性の向上やにぎわい創出に大きく寄与している。

また、駅まち会社は、本市の出資団体であるほか、その構成員に札幌駅前通振興会、沿道地権者や地区に隣接した企業が含まれているため、各関係機関と連携・調整する高い能力を有しており、これまでの間、両施設の適切な活用・管理を行ってきた。

さらに、駅まち会社自らの企画により、地下広場において道産品の魅力を国内外に効果的に発信するマルシェ事業のほか、北 3 条広場において歴史的・文化的価値が高い空間特性に合ったフラワーカーペット事業を開催するなど、数多くの自主事業を開催し、両施設の機能発揮に取り組んできた。

以上のとおり、駅まち会社は、指定管理者として両施設の管理運営を適切かつ良好に行ってきた実績がある。